

平成27年11月17日

No. 58

日立理科クラブ通信



日立理科クラブ

理数アカデミー発表会 「テーマ研究」 成果発表会

11月13日(金)、教育プラザで行われた午前中の理数アカデミー発表会を紹介します。午前中は第1部で、7名のテーマ研究受講生が自分自身の研究テーマをポスターにまとめて展示し、7分間の持ち時間の中でポイントを絞って発表しました。研究テーマは次の通りです。

研究テーマ	研究内容	受講生
べき乗則で見える破壊のかたち	ものが壊れる仕組みの中に潜む規則性について数学的に調査・探索	三好 元太 (茨城中2)
「お掃除ロボット」の充電機能に挑戦	充電機能を持つ「かしこい」お掃除ロボットを自分で設計・製作	田中龍之介 (十王中3)
我が家の出窓の植物工場モデルVOL2 ～宇宙への建設を目指して～	エレクトロニクスを導入した「植物工場」で、宇宙への建設に挑戦	柳田 綾乃 (駒王中2)
食卓の隣の植物工場モデルPART2 ～ LED 光強弱の影響の検討～	LED 光強弱の影響の検討と植物工場モデル案	秦野 翔月(日立一附属中3)
各種台所廃棄物のリサイクル資源化	廃油・生ゴミ等を、効率よく再利用する方法を研究	根岸 和怜 (河原子中1)
音を増幅して伝える仕組み	電子回路に共通の増幅の仕組みを調べる	佐藤 蓮音 (河原子中1)
電波をつかまえよう	「電波」をつかまえる「アンテナ」の不思議を学ぶ	松野 知紀(日立一附属中1)

理数アカデミー担当講師とのマンツーマン体制で、内容の濃い指導を受け、身近な生活場面で気づいた仮説をもとに、実験や検証を繰り返してまとめていった内容になっています。発表時間よりも、質疑の時間を多く取り、発表者の研究に対する取り組みの様子をじかに聞き取るなど、受講生の研究の足跡が垣間見えました。特に、日立理科クラブ関係者の鋭い質問にも、堂々と自分の考えを述べている受講生の様子は、テーマ研究に取り組んできたことへの自信や努力が、言葉の節々に伝わってきていて、この一年間での成長が見えた気がします。



代表理事の講評では、「着眼点・発表の仕方・生活の中から発見・ポスターのまとめ方・継続研究」などの点で、すばらしいと好評を得ていました。これからの課題では、「発表の声・データのまとめ方・実験条件の



整理・実験の結果を将来に生かすビジョン」

などがあげられ、継続した研究で自分達オリジナルの発見や発明につながることを期待したいとエールを贈られました。発表者だけでなく、参観していた他の受講生にとっても、大きな刺激になった発表会だったと思います。

午後の第2部は、「私の夢・過去・未来」発表会です。理科クラス、数学クラスの2・3年生による発表(現在の自分自身の夢や期待)と、



講師自身が昔抱いた夢やその後のキャリアなどを通して、受講生へのメッセージとなる発表が、和やかな雰囲気の中で行われました。

文責 日立理科クラブ 特別会員 岩波 英一
日立理科クラブ事務所 TEL/FAX 0294-24-3104